

## 癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	Biweekly CET
対象疾患	EGFR陽性の治癒切除不能な 進行・再発結腸・直腸癌
1クールの日数	14日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	アービタックス	CET	500	mg/m <sup>2</sup>	div	2時間	d1
2							
3							
4							
5							
6							
補足							

催吐リスク	最小度
前投薬	ポララミン注5mg
減量規定	重度（Grade3以上）の皮膚症状で用量調節。重度（Grade3以上）のInfusion reactionが 発現した場合は中止（Grade1～2では投与速度を減速）。
主な副作用	皮膚症状（ざ瘡様皮疹、皮膚乾燥、発疹、掻痒症）、爪囲炎、Infusion reaction、電解質 異常（特に低Mg血症）、下痢、倦怠感
参考文献	適正使用ガイド（アービタックス） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	アービタックス：10mg/分以下の速度で投与

投与スケジュール

Day ( 1 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL  1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ポララミン注5mg  1日1回	1本 1本	5分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL アービタックス注  1日1回  10mg/分以下の速度で投与	500mg/m <sup>2</sup>	2時間